

# 話題 ピックアップ

まちのニュース



スズランの花を贈る渋川小学校の児童

## スズランの花と 思いやりの心を 届ける慰問活動

5 / 19

市役所には、緑の羽根の募金を届けました。

この活動は、同校の森林愛護少年団活動の一環として、昭和37年から続いています。

児童たちは、スズランの花束に「元気で過ごしてください」とメッセージを添え、入院患者や施設入所者を励ました。併せてながら手渡しました。

## 広大な牧野でおいしい草を食べて元気に育つ

5 / 13

5月1日の上坊牧野を皮切りに、市内各地の牧野で牛の放牧が始まりました。晴れ渡る青空の下で、5月13日には七時雨山のふもとに広がる七時雨牧野へ黒毛和種の放牧を開始。農家からトラックで運ばれた約160頭の牛たちは、健康診断をしきりに体を洗ってきました。

放牧は、牛の育成と畜産農家の作業省力化などを目的に市内各地の牧野で11月ごろまで続きます。



七時雨牧野に放牧された牛たち



仲良く手をつないでゴールする参加者



安代地区健康マラソン大会  
(5月17日、安代地区体育館前)

小雨混じりのいいにくの天候の中、地区の住民64人が参加。開会式で市体育協会の八幡秀夫副会長は「記録や自分の目標を目指し、がんばってください」と参加者を激励しました。

## アメニモマケズ健脚を競う健康マラソン大会

安代地区に春の訪れを告げる恒例ス

ポーツイベント、第39回安代地区健康マラソン大会と第21回安代地区親子マラソン大会は5月17日、安代地区体育館前を発着点に開催されました。



渋川小学校・緑の募金贈呈  
(5月19日、市役所)



渋川小学校・牛乳パック寄贈  
(5月19日、ポパイの家)

4/28



## 八幡平市産牛肉をPR 牛肉推進協議会が発足

市場で高く評価されている市産牛肉の消費拡大を目的とする市牛肉推進協議会は4月28日、新岩手農協西部営農経済センターで設立総会を開催しました。

総会には、生産者など約20人が出席。地産地消の推進などによる市産牛肉の消費拡大に向けた事業計画や収支予算などが承認されました。



5/24

地域の住民同士の交流もフリーマーケットの魅力

協議会では本年度のぼりやポスター、パンフレットの製作のほか、試食会を開き市産牛の魅力をPRしていきます。また市内でも味わえるよう流通量を増加させていきます。

1回目となるこの日は、野菜やドン菓子などを販売する4店舗が出店。そば街道の会による手打ちそばの実演と試食も行われ、会場は多くの地域住民などでにぎわいました。

ニュージーランド（NZ）政府のアリスター・ポールソン農業特使は5月12日、市内の農家などを訪れ、視察や意見交換を行いました。

乳用牛の生産者や黒毛和種の肥育農家、リンドウの雪冷房培養育苗生産施設を視察。生産コストや市場価格、資金調達の方法など、わが国における農業の現状について理解を深めました。

ポールソン特使自身も、NZで1900haの農地で約2万頭の肉用牛と羊を飼う農家。ニュージーランドの農業の実

## 地元商店街に新たな風 フリーマーケット開催

これは、荒屋新町地域で毎月4の付く日に開催されている定期市に合わせ行われるもので、ことしは10月24日まで、計16回の開催を予定しています。



農家と意見交換をするポールソン特使

5/12

## NZ政府に農政 分野で助言する 特使が市を視察



ポールソン農業特使視察  
(5月12日、リンドウ育苗施設)



荒屋新町商店街フリーマーケット  
(5月24日、よりあい処・ぬくもり)

## すなっぷギャラリー

5 / 10

## 母の日に家族そろって めでたい百寿のお祝い

工藤キヨさん(田頭)は5月10日、めでたく100歳の誕生日を迎え、大勢の家族とともに祝いました。工藤さんは明治42年、寄木新田生まれ。子ども3人、孫15人、ひ孫17人、やしやご4人に恵まれました。家族は「行商をしてきた経験から、すべての人に対する感謝が生きの秘訣かな」と笑顔を見せました。

滝沢中央病院で行われたお祝いには、家族など約30人が出席。田村正彦市長も掛け付けて、「元気で長生きしてください」とお祝いの花束を手渡しました。



家族とともに100歳の誕生日をお祝い

5 / 11



田村市長から辞令を交付

通指導隊は、出動回数も多く、大変重要な任務です。市民の生命を守るために、交通安全普及に尽力してください」と激励の言葉を述べました。また、市交通指導隊を代表して、高橋忠一隊長から「地域のために、がんばって活動をして欲しい」とあいさつしました。

地域の子どもたちに身近な自然環境について考えてもらうと、積水メディカル株式会社岩手工場(根釜務工場長)は5月16日、セキスイこども自然塾を開きました。

この催しは、同社の地域貢献活動の一環として行われているもので、岩手工場で行われるのは今回が初めて。松野小学校の児童など17人が参加。同社岩手工場の敷地内に広がる雑木林を、講師役を務める環境コンサルティング会社社長の川那部真さんや同社の社員と一緒に探検しました。

参加した工藤宥哉くん(松

野小4年)は「たくさんの生き物を観察することができて良かった。生態系のことなどを教えてもらい、びっくりした」



生き物を見つけて目を輝かせる子どもたち

## こども自然塾で 身近な野山から 生態系など学ぶ

5 / 16

セキスイこども自然塾  
(5月16日、積水メディカル岩手工場)セキスイこども自然塾  
(5月16日、積水メディカル岩手工場)

## すなっぴンギャラリー



大きく手を上げて横断歩道を渡る園児たち

## 保育園児たちが 交通マナーなど 学ぶ教室に参加

5 / 19

園児たちは真剣なまなざしで左右を確認し、横断歩道を渡つていきました。

あしろ保育所畠分園の交通安全教室は5月19日、同分園と周辺の路上で行われました。この教室は簡単な交通マナーを、園児のうちから身に着けることを目的に行われるもので、岩手警察署安代駐在所の所員や市交通指導員が指導に当りました。

山根誠安代駐在所長が「今日は、道路の歩き方や横断歩

道の渡り方を勉強します。大切な勉強ですので、最後まできちんと聞いてください」といさつし、教室が始まりました。始めに同分園のホールで、道路では右側を歩くことや、横断歩道では右手を上げて左右を見て、車が来ないことを確認してから渡ることなどを勉強。それから実際に路面上に出て、近くの横断歩道を一人ずつ渡りました。

保護者の見守る中、園児たちは真剣なまなざしで左右を確認し、横断歩道を渡つていきました。

藤春香さんは、「周りの皆さんを手本に、笑顔で接することができました」と満足していました。

平館高校3年の工藤春香さんは、「周りの皆さんの笑顔で接することができました」と満足していました。

## 現場のふれあいを通じ 大切な看護の心を学ぶ

5 / 14



足浴をしながら患者とふれあう生徒



基本計画について説明(写真は柏台分館)

ナイチンゲールの誕生日にちなんだ5月12日の「看護の日」に合わせて5月14日、国保西根病院でふれあい看護体験を行いました。

平館高校、盛岡農業高校、盛岡南高校の生徒10人が参加。

白衣に身を包んだ生徒たちは、看護師の指導を受けながら、

入院患者のつめ切りや足浴、食事の介助などといった身の回りの世話を体験しました。

## 庁舎建設の基本計画を 分かりやすく解説する

5 / 25

市庁舎建設基本計画について理解を深めてもらおうと、5月25日の柏台分館を皮切りに市内12会場で住民説明会を開催しています。



あしろ保育所畠分園交通安全教室  
(5月19日、あしろ保育所畠分園)



ふれあい看護体験・施設見学  
(5月14日、西根病院)



ふれあい看護体験・食事介助  
(5月14日、西根病院)